

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



豊里

1万5千冊の蔵書を点検整理

豊里小・中学校では学校支援ボランティアが、図書室内の環境整備を目的に、2月から蔵書の点検作業に当たっています。環境整備は、学校の図書室が閉館している今だからこそできる作業なので、蔵書へバーコードの登録を行い、本棚を種別に整理し室内のレイアウトも変更。児童・生徒が利用しやすく、読書の機会が増えることを願い1冊1冊の清掃や新書にカバーを装着するなど作業を進めています。

交通ルールを守る登下校願う

「新入園、入学児童・生徒対象交通安全啓発品配布」(米山地区交通安全母の会主催、伊藤美貴子会長)は4月6日、米山町域内の保育園と幼稚園、小・中学校で実施され伊藤会長など関係者6人が参加しました。交通安全の啓発品配布は、交通事故を防ぎ、楽しく学校生活を送れるよう塗り絵や定規など交通安全の啓発品を贈呈。伊藤会長は「コロナに負けず交通ルールを守って登下校してほしい」と願いを込めながら記念品を渡しました。



米山



迫

地域一丸で交通安全呼び掛け

「春の交通安全キャンペーン」は4月6日、鹿ヶ城公園前交差点で実施され、関係者35人が参加しました。交通安全キャンペーンは、毎年春の全国交通安全運動期間中に実施し交差点で信号待ちしている車に啓発物資を配布するのが恒例です。今年は新型コロナウイルス感染防止の観点から物資の配布を控え、街頭指導のみの形式で実施。参加者は、交通事故を無くすため啓発の旗を掲げ交通安全を呼び掛けました。



石越

希望に胸膨らませ元気に入園

「石越にじろこども園入園式」は4月3日、石越にじろこども園(伊藤良雄園長、園児102人)で実施され、5歳児25人と保護者が出席しました。入園式は、感染症対策のため来賓を限定して挙行。石越小・中学校などから入園式を祝う電報が多数寄せられました。伊藤園長は「昨年度閉所、閉園された石越保育所と石越幼稚園の後を継いで、地域に根差したこども園として頑張っていきたい」と開園の意気込みを語りました。

交通ルールの意識と知識学ぶ

「登米小学校春の交通安全教室」は4月13日、登米小学校(岩淵達郎校長、児童202人)で開かれ、全学年の児童202人が参加しました。交通安全教室は、校庭に設置された道路や横断歩道に見立てたコースを使用し、登米警察署員や交通安全指導隊員が横断歩道の渡り方や自転車の乗り方を指導。初めて参加した1年生は、始めは緊張した様子でしたが指導に丁寧に従いながら交通安全の意識と知識を身に付けました。



登米

地域の無火災を願い祈り捧ぐ

「登米市消防団南方支団無火災祈願」(消防団南方支団主催、白鳥二郎支団長)は3月16日、南方公民館で執り行われ消防団南方支団幹部など14人が参加しました。無火災祈願は地区の1年間の無火災・無災害を祈願する行事で、地域を守る消防団により毎年執り行われています。白鳥支団長は「火災や災害時の活動だけでなく、火災の無いまちを目指し、地域住民に対する予防や啓発活動をしていきましょう」と呼び掛けました。



南方



東和

ルール学び事故から身を守る

「米川小学校春の交通安全教室」は4月13日、米川小学校(鈴木淳校長、児童71人)で開かれ、全学年の児童67人が参加しました。交通安全教室は学年ごとに実施され、学校周辺の道路や歩道を歩きながら、安全な歩行の仕方や自転車の正しい乗り方などのルールを学びました。児童たちは普段の生活での歩行や自転車に乗る際には交通ルールを守り、「自分の命は自分で守る」ことを誓いました。



津山

1年生6人が新しく仲間入り

「柳津小学校1年生を迎える会」は4月15日、柳津小学校(鹿野征美校長、児童65人)体育館で開かれ、全学年の児童65人が参加しました。1年生を迎える会は、体育館の窓を開放し児童の間隔を空けるなど感染予防を施して実施。在校生が学校紹介やクイズ、手作りのプレゼントを贈るなどして1年生を歓迎しました。1年生がそれぞれ元気いっぱい自己紹介をするなど、在校生は大きな拍手で入学を歓迎しました。

無事故願う春の交通安全運動

「春のシートベルト・チャイルドシート着用、飲酒運転根絶街頭PR」(中田町交通安全団体連絡協議会、小野寺篤朗会長)は4月5日、中田交番(中田町宝江黒沼地内)前で実施され、佐沼警察署や交通安全関係団体から21人が参加しました。参加者は市内の交通事故根絶を願いながら交通安全啓発の旗を掲げ、ドライバーにチラシを配るなどして安全運動を呼び掛けました。



中田